

愛称：AAフォーカスリート オーストラリア・アジアREITファンド

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)
Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

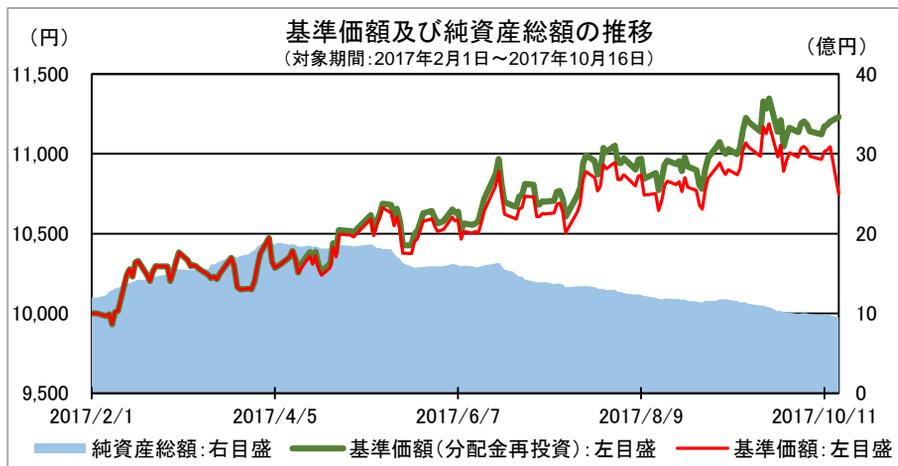
堅調なパフォーマンスの背景と今後の見通しについて

当ファンドの基準価額は、アジアのリート市場の好調さを背景に堅調な推移となっています。
本資料では、オーストラリア、シンガポール、香港の足元の状況や今後の見通しについてご紹介します。

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)

運用実績 「設定以降、当ファンドのパフォーマンスは堅調に推移」

2017年10月16日時点

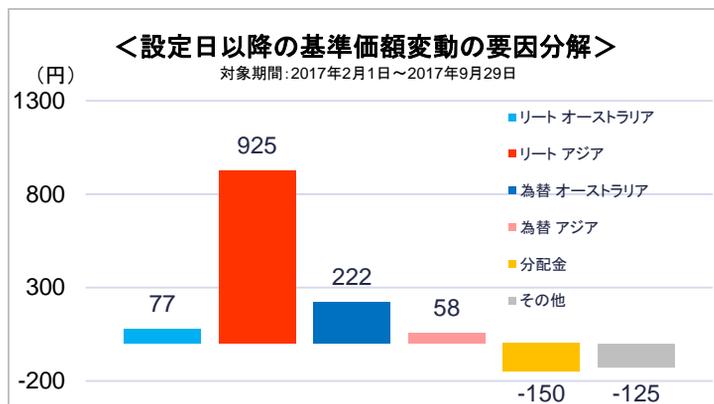


基準価額	10,748円
純資産総額	9.48億円
設定来騰落率	12.30%

分配の推移(1万口あたり、税引前)

設定来合計	475円	6月	25円
2017年2月	0円	7月	25円
3月	0円	8月	25円
4月	25円	9月	25円
5月	25円	10月	325円

要因分解



※基準価額は、信託報酬控除後です。

※基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■本資料は、投資者の皆様様に「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし、毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり、毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし、年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり、年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

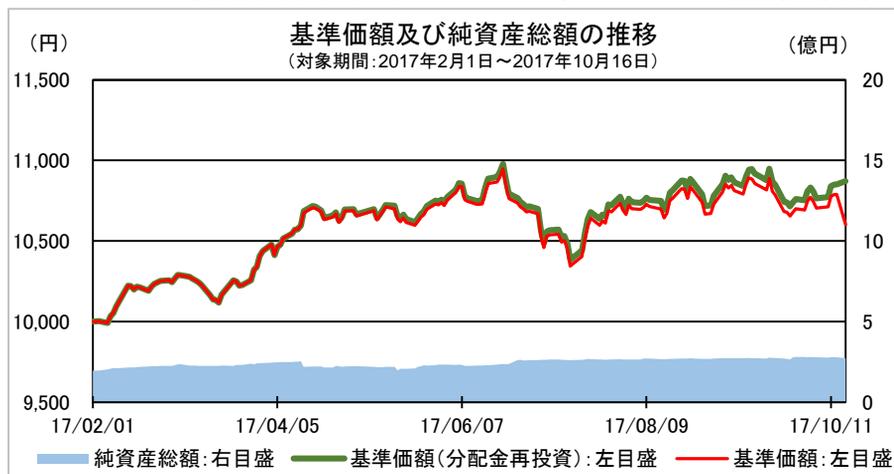
堅調なパフォーマンスの背景と今後の見通しについて

当ファンドの基準価額は、アジアのリート市場の好調さを背景に堅調な推移となっています。
本資料では、オーストラリア、シンガポール、香港の足元の状況や今後の見通しについてご紹介します。

Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

運用実績 「設定以降、当ファンドのパフォーマンスは堅調に推移」

2017年10月16日時点

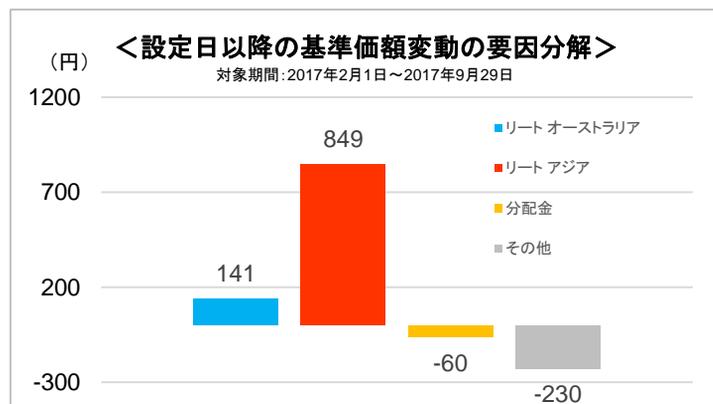


基準価額	10,601円
純資産総額	2.73億円
設定来騰落率	8.72%

分配の推移(1万口あたり、税引前)

設定来合計	270円	6月	10円
2017年2月	0円	7月	10円
3月	0円	8月	10円
4月	10円	9月	10円
5月	10円	10月	210円

要因分解



※基準価額は、信託報酬控除後です。

※基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※要因分解の「その他」には為替ヘッジプレミアム/コスト等を含みます。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし、毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり、毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし、年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり、年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

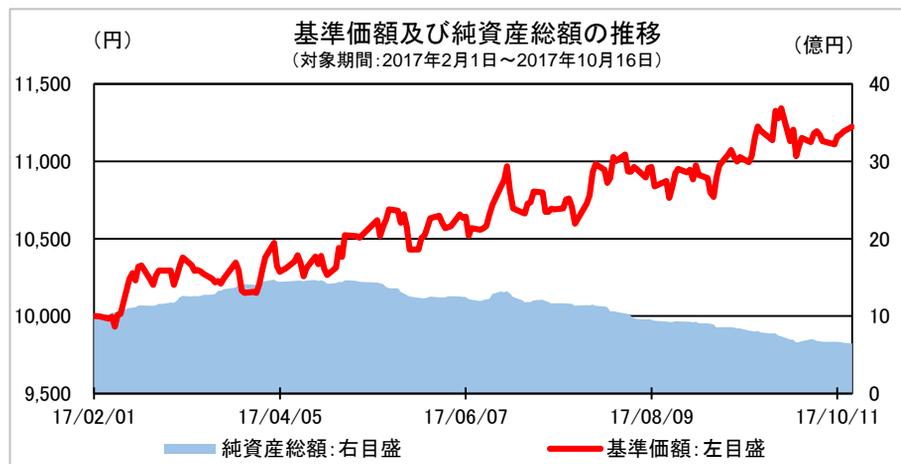
堅調なパフォーマンスの背景と今後の見通しについて

当ファンドの基準価額は、アジアのリート市場の好調さを背景に堅調な推移となっています。
本資料では、オーストラリア、シンガポール、香港の足元の状況や今後の見通しについてご紹介します。

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)

運用実績 「設定以降、当ファンドのパフォーマンスは堅調に推移」

2017年10月16日時点

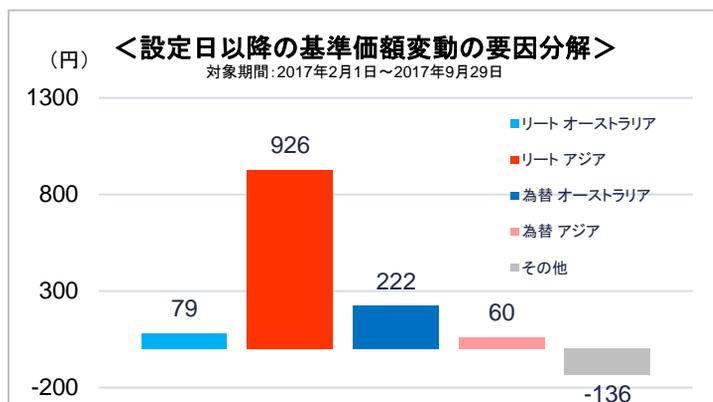


基準価額	11,223円
純資産総額	6.46億円
設定来騰落率	12.23%

分配の推移(1万口あたり、税引前)

設定来合計	0円	2019年4月	-
2017年4月	0円	10月	-
10月	0円	2020年4月	-
2018年4月	-	10月	-
10月	-	2021年4月	-

要因分解



※基準価額は、信託報酬控除後です。

※分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし、毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり、毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし、年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり、年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

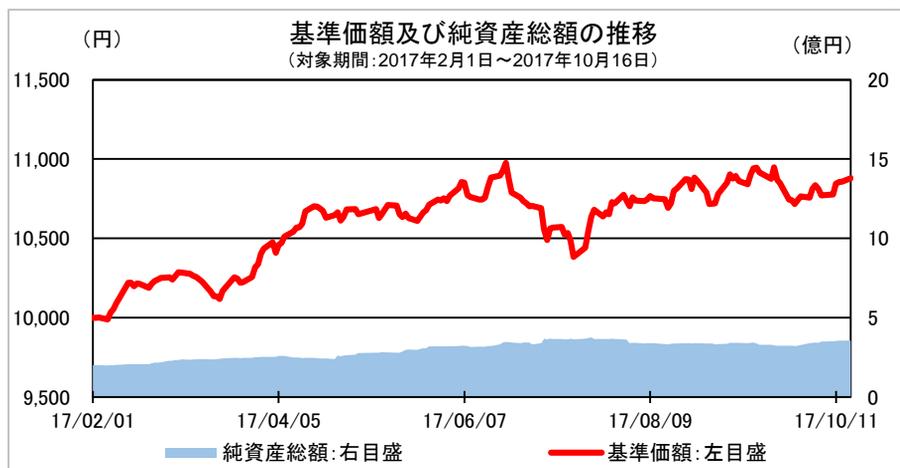
堅調なパフォーマンスの背景と今後の見通しについて

当ファンドの基準価額は、アジアのリート市場の好調さを背景に堅調な推移となっています。
本資料では、オーストラリア、シンガポール、香港の足元の状況や今後の見通しについてご紹介します。

Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

運用実績 「設定以降、当ファンドのパフォーマンスは堅調に推移」

2017年10月16日時点

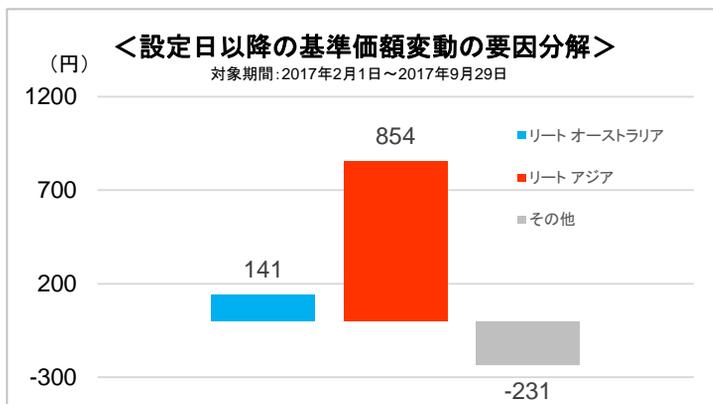


基準価額	10,880円
純資産総額	3.56億円
設定来騰落率	8.80%

分配の推移(1万口あたり、税引前)

設定来合計	0円	2019年4月	-
2017年4月	0円	10月	-
10月	0円	2020年4月	-
2018年4月	-	10月	-
10月	-	2021年4月	-

要因分解



※基準価額は、信託報酬控除後です。

※分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※要因分解の「その他」には為替ヘッジプレミアム／コスト等を含みます。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし、毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり、毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし、年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり、年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

足元の
状況オーストラリア・アジアのリートは
概ね堅調に推移

- ✓ **オーストラリア市場** については、米ネット通販大手のオーストラリア進出の発表を受け、小売リートの業績に対する懸念が高まったことなどを背景に軟調となる場面もあったものの、概ね堅調な推移となりました。
- ✓ **シンガポール市場** は、不動産ファンダメンタルズ(空室率や賃料など)に明るさが増したこと、政治面でのリスクが相対的に低いことなどから選好され、上昇基調となりました。
- ✓ **香港市場** は、引き続き新規供給が限定的となるなか、オフィスや商業施設の賃料が高水準で推移しており、収益拡大期待などを背景に大きく上昇する展開となりました。

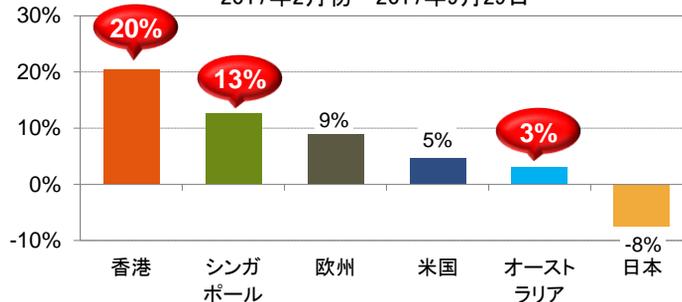
＜主要国・地域のリート市場のパフォーマンス推移＞

2017年2月初～2017年9月29日



＜騰落率＞

2017年2月初～2017年9月29日



各国・地域リート:S&P REIT指数の各国・地域別インデックス(現地通貨ベース、トータルリターン)

(日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社作成)

上記は、日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし、毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり、毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし、年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり、年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

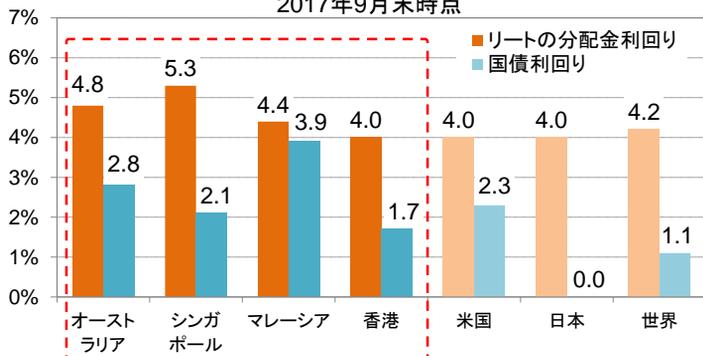
Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

今後の見通し

オーストラリア・アジアのリートは引き続き魅力的な投資対象

- ✓ **オーストラリアのリート** について、足元の堅調な業績に加え、相対的に高い分配金利回りに鑑みると引き続き注目度の高い投資対象とみられます。
- ✓ **シンガポールのリート** については、明るさが増す不動産ファンダメンタルズや相対的に高い分配金利回りなどにより魅力的な状況です。
- ✓ **香港のリート** については、足元の分配金利回りは米国や日本と同水準となっているものの、不動産ファンダメンタルズが好調であることなどを勘案すると、引き続き魅力的な投資対象であると考えられます。

<主要国・地域のリーートの分配金利回りと国債利回り>
2017年9月末時点



次ページ以降では、地域別にご説明いたします。

リーートの分配金利回り: S&P REIT指数の各国・地域別インデックス

国債利回り: オーストラリア、シンガポール、マレーシア、香港、日本、米国は10年国債利回り、世界はシティ世界国債インデックスの最終利回り

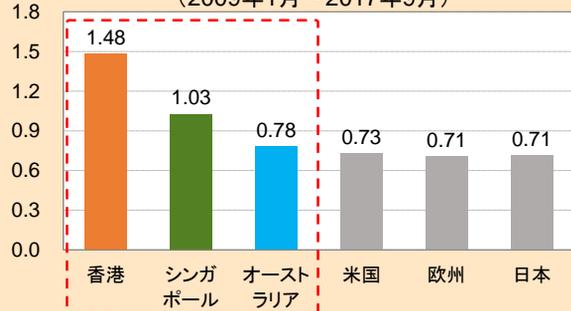
※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。※利回りは切り捨てにて端数処理しています。

(日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社作成)

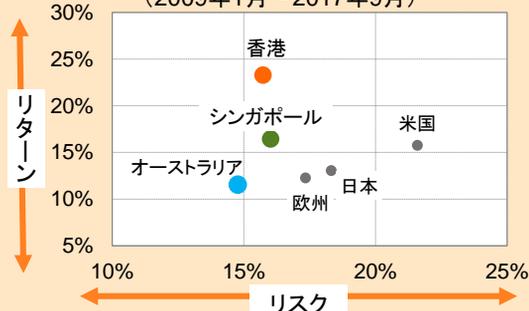
【ご参考】 リターン/リスク比が良好なオーストラリア・アジア

オーストラリアやシンガポール、香港のリーートの過去のリターン/リスク比(単位リスク当りのリターン)は、他の主要国・地域のリートに比べて良好となっています。

<アジアと主要国・地域のリーートのリターン/リスク比>
(2009年1月～2017年9月)



<アジアと主要国・地域のリーートのリターンおよびリスク>
(2009年1月～2017年9月)



※各国・地域のS&P REIT指数(現地通貨ベース、トータルリターン)について、リターンをリスクで除した値。

※リターンは月次騰落率の平均値、リスクは月次騰落率の標準偏差をそれぞれ年率換算した値。

(日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社作成)

上記は、日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし、毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり、毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし、年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり、年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

オーストラリア
今後の見通し景気拡大が続くなか、
オフィスセクターの堅調さが目立つ経済成長の加速が
期待される
オーストラリア経済

- ✓ オーストラリアでは、資源ブーム一服にもかかわらず、1991年後半から26年にわたる景気の拡大が続いています。中央銀行は、雇用の拡大が内需を底上げし、2018年にかけて、**経済成長が加速するとの見方**を示しています。

(日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社作成)

＜オーストラリアのGDP成長率(前年同期比)＞
2013年1-3月期～2017年4-6月期高い需要を背景に
賃料の上昇が続くオフィスセクター

- ✓ 経済成長が続くなか、幅広い業種からの強い需要を背景に、**シドニーとメルボルンのオフィスの賃料が大きく上昇**しています。
- ✓ 8月の就業者数は、約2年ぶりの大幅な伸びとなるなど、労働市場が拡大傾向となっていることから、**堅調なオフィス需要は継続する見込み**です。

＜シドニーとメルボルンのオフィスの月間賃料の推移＞
2007年1-3月期～2017年4-6月期

(出所) Colliers International

eコマース拡大の影響を受ける
物流セクターと小売セクター

- ✓ **物流セクター**
eコマースの浸透などにより、需要の高まりが見込まれ、**今後の収益拡大が期待**されます。
- ✓ **小売セクター**
テナントの売り上げ減少によるマイナスの影響が危惧されるものの、**影響は懸念されるほど大きくないと**みられます。

小売セクターへの影響が
大きくならないとみられる背景

背景①

リートが保有する商業施設は、娯楽施設を併設するなど体験型の商業施設となっているものも多く、eコマースの影響を受けやすい小売店との差別化が進んでいる。

背景②

大手小売リートの足元の決算は市場予想を上回っている。また、開発物件などにより、今後、利益成長が見込めるリートもみられる。

背景③

中国の富裕層を中心とした観光客の増加を背景に、インバウンド消費が期待される。

上記は、日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし、毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり、毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし、年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり、年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

シンガポール
今後の見通し

不動産ファンダメンタルズの明るさが増す

明るさが増す
シンガポール経済

- ✓ シンガポールのGDP成長率は、製造業の持ち直しなどを背景として、2016年10-12月期に回復に転じました。世界的な需要増を背景に好調となった精密機械分野などが、今後も経済を下支えするとみられます。

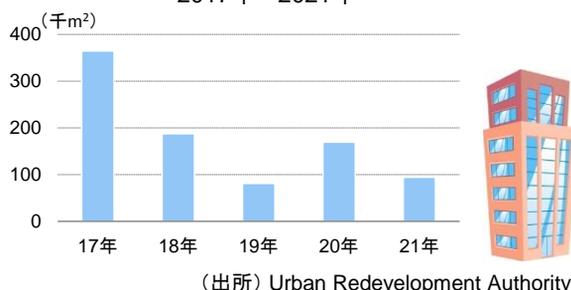
(日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社作成)

＜シンガポールのGDP成長率(前年同期比)＞
2012年1-3月期～2017年7-9月期

オフィス賃料は回復に向かう見込み

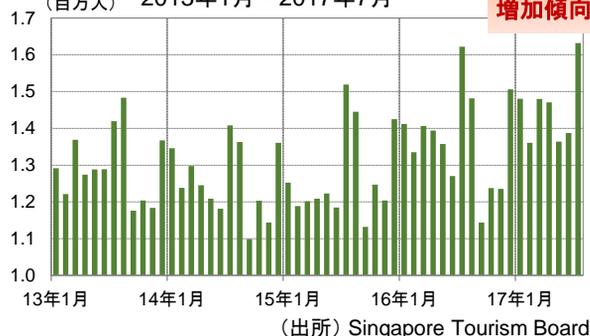
OFFICE

- ✓ オフィス賃料は、重しとなっていた新規供給の増加が、今後ピークアウトを迎えることから、中長期的に回復に向かうとみられます。
- ✓ また、**ビジネスパーク**(オフィスビルが集まる地域の総称)については、**テクノロジーや医薬品企業などからの旺盛な需要がみられる**ため、注目されます。

＜シンガポールのオフィス新規供給面積(予想)＞
2017年～2021年観光客数の増加により、ホテルセクターは
収益拡大の見込み

HOTEL

- ✓ 2016年にシンガポールを訪れた外国人数が過去最高となるなど、足元で訪問外国人数が増加傾向となっています。
- ✓ また、ホテルの新規供給が落ち着く見込みであることから、**ホテルセクターの収益拡大が期待されます。**

＜シンガポールへの訪問外国人数の推移＞
(百万人) 2013年1月～2017年7月観光客は
増加傾向

eコマース市場拡大の恩恵を受けるとみられる物流セクター

INDUSTRY

- ✓ 米ネット通販大手のシンガポールでのサービス開始などにより、今後、同国においてeコマースの一層の浸透が予想されます。
- ✓ 小売セクターへのマイナスの影響が懸念されるものの、同国の所得水準は高く、ショッピングモールがターゲットとする顧客の消費力は強いことから、影響は限定的であると考えられます。
- ✓ **物流セクターは、eコマース市場拡大を背景とした需要の高まりにより、恩恵を受けるとみられるため注目**しています。

上記は、日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし、毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり、毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし、年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり、年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)
 Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

香港 今後の見通し

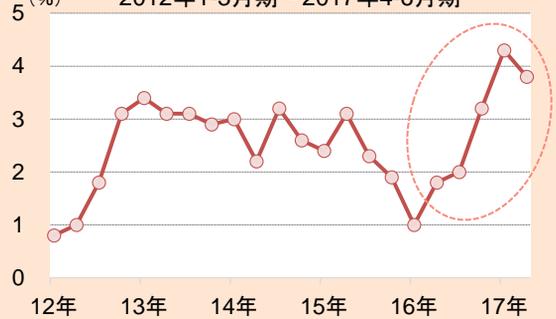
堅調な経済成長を背景に 引き続き好調な香港の不動産市況



堅調な香港経済

- ✓ 香港では、中国本土などのアジアや欧米向けの輸出の改善が続いているほか、固定資産投資の好調などを背景に、経済は堅調となっています。

<香港のGDP成長率(前年同期比)>
2012年1-3月期~2017年4-6月期



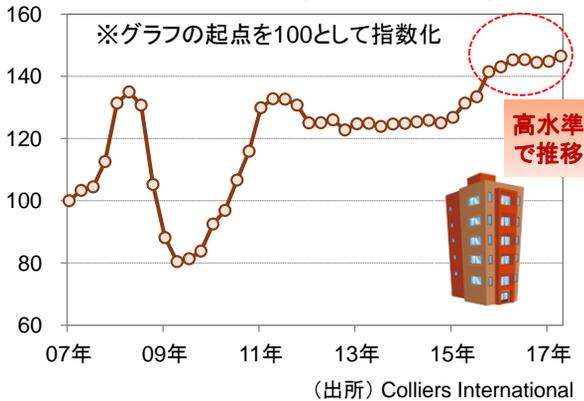
(日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社作成)

引き続き高水準の賃料が 見込まれるオフィスセクター

OFFICE

- ✓ 香港では、オフィスビルの空室率が低水準で推移しており、特にセントラル地区のオフィスの需要は引き続き旺盛な状態です。
- ✓ スtockコネクト(上海、深センと香港の証券取引所の相互接続)の導入などを背景に、中国企業の香港への進出増加が予想され、**世界最高水準のオフィス賃料の継続が見込まれることから、引き続きオフィスセクターに注目しています。**

<香港のオフィスの月間賃料の推移>
2007年1-3月期~2017年4-6月期



収益拡大が期待される 郊外のショッピングモール

RETAIL

- ✓ 香港郊外の商業施設においては、域内消費が底堅く推移するなか、テナントの入替えや物件のリニューアルによる**賃料上昇余地の大きさ**などを背景に、**収益拡大が期待されます。**
- ✓ また、中国本土からの観光客数が増加に転じ、足元で小売売上高が回復傾向となっていることは、観光客向けのショッピングモールを保有するリートの収益拡大につながると期待されます。

<香港の小売売上高(前年同月比)の推移>
2012年1月~2017年8月



(日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社作成)

上記は、日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし、毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり、毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし、年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり、年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

ファンドの運用について

足元の運用状況について

オーストラリア市場

- ✓ 米ネット通販大手のオーストラリアへの本格進出による影響が懸念された小売セクターについて、市場の見方は過度に悲観的と考えており、優良な物件を保有するリートの足元での組み入れ比率を増やしました。

シンガポール市場

- ✓ 観光客が増加傾向となるなか、今後、ホテルの新規供給が限定的とみられることから、ホテルセクターの組み入れを増やしました。

香港市場

- ✓ 足元で、珠江デルタ(中国の深セン、広州などの珠江河口地域)について、政府主導での開発が進められており、需要の高まりが見込めることから、同地域にオフィスを保有するリートを新規に組み入れました。

インドや中国の不動産市場にはポテンシャルあり

- ✓ 当ファンドは、オーストラリア、アジア(除く日本)の国・地域の金融商品取引所に上場しているリートに投資を行いません。アジアにおいて、足元では、各国・地域の状況に鑑み、シンガポールと香港のリートに投資を行っていますが、過去には、マレーシアのリートの組み入れ実績もあります。
- ✓ また、インドや中国についてポテンシャルのある不動産市場であると考えており、市場の法整備などが十分に進んだ場合には、長期的にみて、組み入れを検討する可能性があります。

今後も、日興アセットマネジメント アジア リミテッドの充実した情報収集力・調査体制を活かし、オーストラリアとアジアの国・地域の景気動向や不動産ファンダメンタルズ、各市場の成長見込み、制度整備状況などを見極め、幅広い投資機会に注目し、柔軟な銘柄選別を行なって参ります。



Eric Khaw
日興アセットマネジメント
アジア リミテッド
ポートフォリオ・マネージャー

上記は、当ファンドの投資対象ファンドが投資する、「オーストラリアリートマザーファンド」の運用を行なう「日興AMリミテッド」および「アジアリートマザーファンド」の運用を行なう日興アセットマネジメント アジア リミテッドからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)
Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



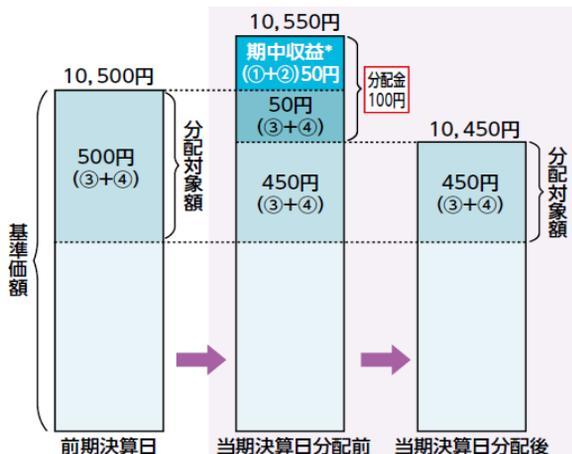
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配金分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

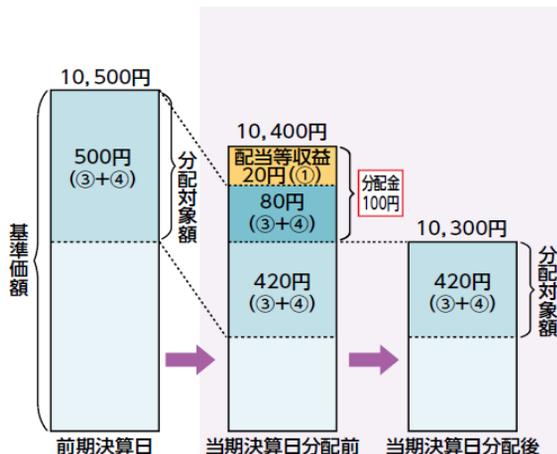
*分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。分配対象額は、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金(当該計算期間よりも前に累積した配当等収益および売買益)④収益調整金(信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分)です。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合



*上図の期中収益は以下の2項目で構成されています。

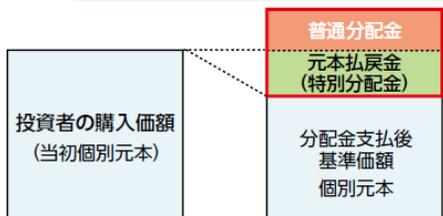


※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

上記のとおり、分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合がありますので、元本の保全性を追求される投資者の場合には、市場の変動等に伴う組み入れ資産の価値の減少だけでなく、収益分配の支払いによる元本の払い戻しにより、本ファンドの基準価額が減価することに十分ご注意ください。

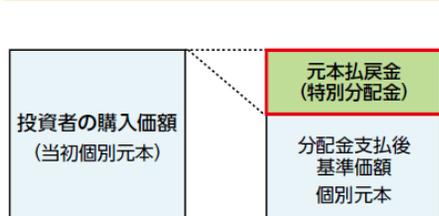
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の基準価額の値上がりも、支払われた分配金額より小さかった場合も実質的に元本の一部払い戻しに相当することがあります。元本の一部払い戻しに該当する部分は、元本払戻金(特別分配金)として非課税の扱いになります。

分配金の一部が元本の一部払い戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払い戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(特別分配金)

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

リートの価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク、株価変動リスク

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込みメモ

信託期間	無期限(2017年2月1日設定)
決算日	<Aコース、Bコース> 毎月14日(休業日の場合は翌営業日) <Cコース、Dコース> 毎年4月14日及び10月14日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づき分配します。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※分配金再投資コースの場合は、税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
換金制限	大口の換金には制限を行う場合があります。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
購入・換金 申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。 (休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。) ・シンガポール証券取引所の休業日・香港証券取引所の休業日 ・オーストラリア証券取引所の休業日及びシドニーの銀行休業日
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。

ファンドの費用

▼お客様が直接的にご負担いただく費用

【購入時】 購入時手数料	購入価額に販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額とします。 (上限3.24%(税抜3.0%))
【換金時】 信託財産留保額	ありません。

▼お客様が間接的にご負担いただく費用

【保有期間中】 実質的な 運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して 年率1.7064%程度(税抜1.58%程度) 当ファンドは他のファンドを投資対象としています。したがって、当ファンドの運用管理費用(年率1.1124%(税抜1.03%))に当ファンドの投資対象ファンドの運用管理費用(年率0.594%程度(税抜0.55%程度))を加えた、お客様が実質的に負担する運用管理費用を算出しています。ただし、この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入状況により変動します。
【保有期間中】 その他の費用・ 手数料	監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等をその都度(監査費用は日々)、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動する等の理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。

オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社：ちばぎんアセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]
 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第443号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 ホームページ：<http://www.chibagin-am.co.jp/>
 サポートダイヤル：03-5638-1451 受付時間 9:00～17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社：三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社：下記の【販売会社一覧】をご覧ください。[募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

販売会社一覧

商号等	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
株式会社東邦銀行 ※	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	○		
とうほう証券株式会社 ※	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○		

※オーストラリア・アジアREITファンド Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)のみの取扱いです。

【ご留意事項】

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。